

《15》山茶花

さざんか

ツバキ科



冬は花の少ない季節ですが、それでも冬にしか咲かない花があります。山茶花、侘助、茶の花、水仙、臘梅……。その筆頭は“山茶花”、冬の初めあちこちの庭の生垣で紅や白や薄紅の花を咲かせます。「山の茶の花」と書いて「サザンカ」、この名前から想像すると、中国渡来の花木のようですが、昔から九州をはじめとする日本の南部に自生していました。ただ、“山茶花”の名前が日本の文献に初めて登場するのは室町時代のこと、それまではあまり知られていなかったようです。

江戸時代に入ると山茶花は盛んに栽培されました。

山茶花のとうふうとよきのなかりけり

長谷川 權

山茶花は散る花、紅や白の花びらが咲くより早く散り始めます。

